



平成22年10月19日

各位

上場会社名 レシップホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 杉本 眞
 (コード番号 7213)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 山口 芳典
 (TEL 058-323-7647)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月10日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|------|------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 6,860 | △25 | △1 | 14 | 2.19 |
| 今回発表予想(B) | 5,459 | △477 | △448 | △315 | △49.29 |
| 増減額(B-A) | △1,401 | △452 | △447 | △329 | |
| 増減率(%) | △20.4 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期) | 5,601 | △458 | △450 | △374 | △58.58 |

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 14,700 | 525 | 565 | 335 | 52.42 |
| 今回発表予想(B) | 13,200 | 125 | 140 | 59 | 9.23 |
| 増減額(B-A) | △1,500 | △400 | △425 | △276 | |
| 増減率(%) | △10.2 | △76.2 | △75.2 | △82.4 | |
| (ご参考)前期実績 (平成22年3月期) | 13,585 | 29 | 64 | 41 | 6.55 |

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

修正の理由

(1)第2四半期連結累計期間

輸送機器事業におきましては、昨年度の新型インフルエンザの流行に端を発した影響、およびマイカー普及の影響などにより、バス利用者が減少傾向にあることと合わせ、昨年度より引き続き高速道路休日割引制度や、雇用情勢の改善の遅れなどの影響により、公共交通機関の輸送人員数が伸び悩み、各事業者様の設備投資が先送りされる傾向が続いております。加えて競争の激化等により製品単価が下落したこと、また、上期に予定しておりました大口物件が下期にずれ込んだことなども影響いたしまして、バス用運賃箱や車載用液晶表示器OBC(オン・バス・コンピュータ)など、主力のバス市場向け製品の売上が当初計画を下回る見通しとなりました。

さらに、S&D事業におきましても、主力としておりますLED電源が、店舗やオフィスで使用される蛍光灯型LED灯具向けや、LEDダウンライト向けなどの市場への導入が遅れたこと、加えて新規業者の参入による競争の激化による製品価格の下落などにより、当初売上計画を下回る見通しとなりました。

また、損益面につきましては、人件費の削減をはじめとして、新規仕入先の開拓や生産体制の最適化による製造経費の低減、並びに販売費及び一般管理費の削減に取り組んでまいりましたものの、売上高の減少により当初の計画を下回る見通しとなりました。

(2)通期

第2四半期連結累計期間の業績予想の修正と合わせ、通期の業績予想につきましても、輸送機器事業における各事業者様の設備投資の先送りの傾向が続くと想定され、主力のバス市場向け製品の売上が、当初予想数字を下回る見通しとなりましたこと、加えて、S&D事業においてのLED電源の拡販が、競争の激化により伸び悩みが予想されること、また、産業機器事業における、連結子会社レシップ電子の自動車用電装品向け基板実装が、エコカー補助金の終了などの影響により、下期以降は軟調に推移すると見込まれることなどから、通期におきましても売上高、利益ともに、当初の計画を下回る見通しとなりました。

以上